

## 第26期東京都自然環境保全審議会第4回鳥獣部会

日 時 令和7年2月4日(火曜日) 午後2時～  
形 式 WEB会議

### 会 議 次 第

1 開 会

2 議 事

審議事項

諮問第497号 奥多摩湖鳥獣保護区特別保護地区の再指定について

3 閉 会

#### 【配付資料】

資料1 奥多摩湖鳥獣保護区特別保護地区の再指定について

資料2 東京都指定奥多摩湖鳥獣保護区特別保護地区計画書【指定】素案

参考資料1 鳥獣保護区及び鳥獣保護区特別保護地区について

参考資料2 奥多摩湖鳥獣保護区特別保護地区調査結果比較表

参考資料3 令和6年度鳥獣保護区生息状況調査委託中間報告書(抜粋)

## 第26期東京都自然環境保全審議会 鳥獣部会委員名簿

氏 名	役 職 名 等
石 井 信 夫	東京女子大学名誉教授
入 交 眞 巳	(公社)東京都獣医師会理事 東京農工大学ディープテック産業開発機構特任准教授
田 尻 浩 伸	(公財)日本野鳥の会自然保護室室長
山 崎 晃 司	東京農業大学教授
山 崎 靖 代	東京都森林組合副組合長
相 原 宏 次	(一社)東京都農業会議事務局長
八 尾 明	(公社)東京都猟友会会長

# 奥多摩湖鳥獣保護区特別保護地区の再指定について

鳥獣保護とその生息地の保護に特に必要な奥多摩湖鳥獣保護区特別保護地区の指定が10月末に期限

## 概 要

- 指定場所 東京都西多摩郡奥多摩町
- 面積 110ヘクタール
- 更新期間 R7年11月1日～R27年10月31日(20年間)
- 根拠法令 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第29条第1項
- 指定目的 (地区の特色)
  - ・ 奥多摩湖を囲う形で針広様々な植物が多く残存
  - ・ オシドリやカワセミを始めとする水鳥などの良好な生息地として特に重要
- 指定による制限 区域内は狩猟・開発行為禁止

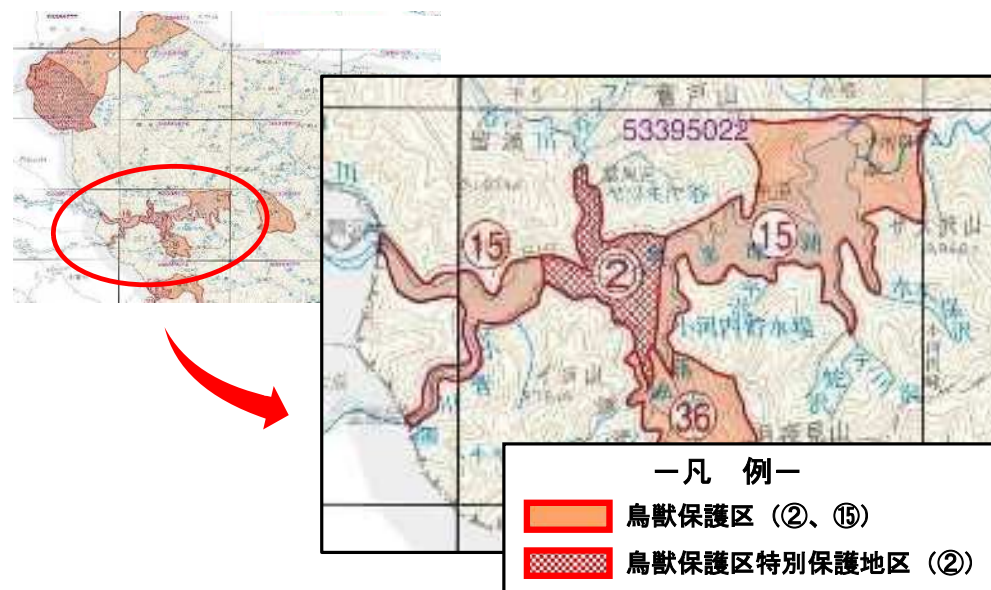


オシドリ  
(出典：東京都総務局HP)



カワセミ

- 保護に関する方針
  - ・ 鳥獣の生息に必要な自然環境を保全
  - ・ 生息及び繁殖する多様な野生鳥獣の保護を図る
  - ・ 指定10年後に、モニタリング調査を実施



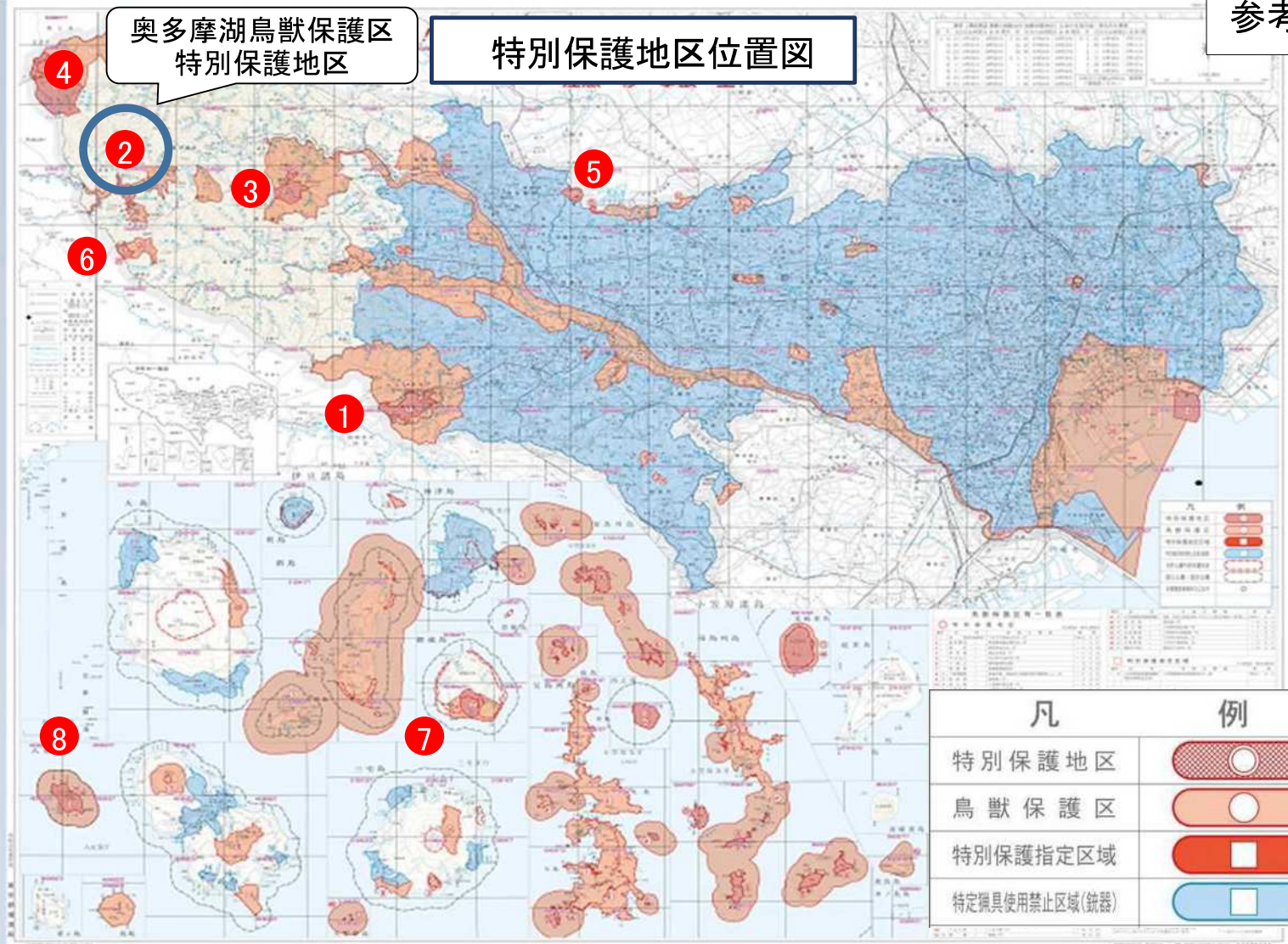
## 鳥獣保護区及び特別保護地区について

区域	目的	制限	審議会	指定	箇所数
鳥獣保護区	鳥獣保護	狩猟禁止	新規指定・区域拡張する際は、審議会付議	都	39
				国 ※	0
特別保護地区	鳥獣保護・生息地の保護	狩猟・開発行為禁止	新規指定・区域拡張・期間延長する際は、審議会付議	都	8
				国 ※	6

※国際的・全国的な鳥獣保護のため鳥獣保護管理法に基づき国が指定  
 ・小笠原諸島（世界自然遺産）、葛西沖三枚洲（ラムサール条約湿地）等

特別保護地区位置図

奥多摩湖鳥獣保護区  
特別保護地区



番号	特別保護地区
①	高尾
②	奥多摩湖
③	御岳
④	奥多摩
⑤	村山山口
⑥	三頭山
⑦	御蔵島
⑧	八丈小島

凡	例
特別保護地区	
鳥獣保護区	
特別保護指定区域	
特定猟具使用禁止区域(銃器)	

## 奥多摩湖鳥獣保護区特別保護地区指定までの流れ

指定計画書（素案）作成

地区概要や鳥獣生息状況をまとめ、指定計画書（素案）作成

鳥獣部会（1回目：2/4）

指定計画書（素案）の検討

意見照会

関係地方公共団体等※へ意見照会

※町、観光協会、猟友会、森林組合、野鳥の会、水道局、農協

公告・縦覧

公告・縦覧（期間：14日間）

鳥獣部会（2回目）

意見照会等を踏まえ、指定計画書（素案）検討

本審議会

鳥獣部会での結果を報告

環境省へ届出

公示しようとする30日前までに、環境省へ届出書提出

指定公示

東京都広報に掲載、公示

東京都指定奥多摩鳥獣保護区  
特別保護地区計画書  
【指定】

( 素 案 )

令和 7 年 月

東 京 都

## 1 特別保護地区の概要

### (1) 特別保護地区の名称

奥多摩湖鳥獣保護区特別保護地区

### (2) 特別保護地区の区域

東京都奥多摩町大字原字ぞうざす 14 番地の 3 先のあずまトンネル東側入口を基点として、同地点から方位南を見通し奥多摩湖南岸岬奥多摩町大字川野字山なし 1474 番地先の管理道路に達し、同地点から管理道路を奥多摩湖上流に向かって進み、奥多摩町大字川野字本田 1139 番地先の岬に至り、同地点から方位北を見通し奥多摩湖北岸奥多摩町大字川野字麦山 174 番地の 1 先麦山橋東側に達し、同地点から国道 411 号線を東方に進み、奥多摩町大字川野字麦山 142 番地先に至り、同地点から小径を北方に進み、同町大字川野字いぬえ 1049 番地先を経て雲風呂橋に至る小径との交点に至り、同地点から同小径を東方に進み、雲風呂橋右岸西端に至り、同橋を渡り左岸東端に至り、同地点から小径を南東方に進み、町道小河内秩父線との交点に至り、同地点から同線を南東方に進み、国道 411 号線との交点に至り、同地点から同線を北東方に進み、坂本トンネル及びあずまトンネルを経て基点に至る線に囲まれた一円の区域。

### (3) 特別保護地区の存続期間

令和 7 年 11 月 1 日から令和 27 年 10 月 31 日まで（20 年間）

### (4) 特別保護地区の指定区分

森林鳥獣生息地

### (5) 特別保護地区の指定目的

当該地域は、昭和 32 年に完成した多摩川の人造湖である奥多摩湖の中央部に位置している。湖の周囲をスギ、ヒノキ、モミ等の針葉樹林やミズナラ、コナラ、オオモミジ等の広葉樹林が囲んでおり、多種多様な鳥獣が生息している。この中には、オシドリやカワセミを始めとする水鳥や「文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）」において天然記念物に指定されているイヌワシも確認されている。

このため、当該地域を引き続き良好な鳥獣の生息環境として保全するため、法第 29 条第 1 項の特別保護地区に指定し、当該地域に生息する鳥獣の生息地の保護を図るものである。



## 2 特別保護地区の保護に関する方針

当該区域には、奥多摩湖面に浮かぶドラムカン橋や小河内神社があるため、ハイキングなど野外活動が多い区域である。このため、鳥獣の安定的な生息に影響を及ぼすことがないように、定期的に巡視を実施し、静寂な環境の保持に努める。

また、工作物設置、水面の埋立て、木竹の伐採等の開発行為などを指導監督し、鳥獣の保護及び繁殖地の保全に著しい支障が生じることのないように努める。

## 3 特別保護地区の区域に含まれる土地の地目別面積及び水面の面積

別表1のとおり。

## 4 指定区域における鳥獣の生息状況

### (1) 当該区域の概要

#### ア 鳥獣保護区の位置

特別保護地区を含む鳥獣保護区は東京の最西部に位置し、西端は山梨県小菅村及び丹波山村に接している。この内、特別保護地区は、鳥獣保護区の概ね中央部に位置している。また、鳥獣保護区は秩父多摩甲斐国立公園に指定され、さらに水源涵養保安林になっている。

#### イ 地形、地質など

特別保護地区を含む鳥獣保護区は、海拔390メートルより610メートルの間にまたがる急傾斜地及び水面で構成されている。この内、特別保護地区は海拔390メートルより500メートルの間にまたがる急傾斜地及び水面で構成されている。

また、地質は、鳥獣保護区及び特別保護地区とも主に秩父古生層で構成されている。

#### ウ 植生の概要

特別保護地区を含む鳥獣保護区の森林植物帯は、スギ、ヒノキ、モミ等の針葉樹林とミズナラ、コナラ、オオモミジ等の広葉樹林の植生に恵まれている。また、水面も多く鳥獣の生息に非常に適しており、その種類も極めて多いので自然環境を保全する必要がある。

#### エ 動物相の概要

特別保護地区を含む鳥獣保護区に生息する鳥獣の種類は豊富で、猛禽類も含めて鳥類

33科81種、獣類16科30種が確認されている。なお、鳥獣保護区で確認された鳥獣相の詳細については、別表2、3のとおり。

(2) 生息する鳥獣類

別表2、3のとおり。

(3) 当該区域の農林水産物の被害状況

多摩地域を中心に、鳥獣類による植生被害、農林業被害が発生している。特に、当該区域においては、ニホンジカによる植生被害が顕著であるため、被害状況等を監視していく必要がある。

5 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第32条の規定による補償に関する事項

当該区域において、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第32条に規定する損失を受けた者に対しては、通常生ずべき損失の補償をする。

6 維持管理に関する事項

鳥獣保護区用制札、案内板を設置していく。



別表2 特別保護地区内に生息する鳥類リスト

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件※2				
				I	II	III	IV	V
4	キジ	キジ	ヤマドリ				VU	
24	カモ	カモ	オシドリ			DD	VU	
30	カモ	カモ	マガモ					
32	カモ	カモ	カルガモ					
38	カモ	カモ	コガモ					
74	ハト	ハト	キジバト					
78	ハト	ハト	アオバト					
127	カツオドリ	ウ	カワウ					
144	ペリカン	サギ	アオサギ					
183	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ				NT	
185	カッコウ	カッコウ	ホトトギス				NT	
187	カッコウ	カッコウ	ツツドリ				NT	
188	カッコウ	カッコウ	カッコウ				VU	
192	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ				DD	
342	タカ	タカ	トビ					
354	タカ	タカ	ツミ				NT	
355	タカ	タカ	ハイタカ			NT	VU	
358	タカ	タカ	ノスリ				NT	
363	タカ	タカ	イヌワシ	天	希少	EN		
372	フクロウ	フクロウ	フクロウ				VU	
383	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ				NT	
385	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ				EN	
390	キツツキ	キツツキ	コゲラ					
392	キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ				NT	
393	キツツキ	キツツキ	アカゲラ					
397	キツツキ	キツツキ	アオゲラ					
412	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ			VU	CR	
420	スズメ	モズ	モズ				NT	
427	スズメ	カラス	カケス					
435	スズメ	カラス	ハシボソガラス					

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件※2				
				I	II	III	IV	V
436	スズメ	カラス	ハシブトガラス					
438	スズメ	キクイタダキ	キクイタダキ				VU	
441	スズメ	シジュウカラ	コガラ					
442	スズメ	シジュウカラ	ヤマガラ					
443	スズメ	シジュウカラ	ヒガラ					
445	スズメ	シジュウカラ	シジュウカラ					
457	スズメ	ツバメ	ツバメ					
461	スズメ	ツバメ	イワツバメ					
463	スズメ	ヒヨドリ	ヒヨドリ					
464	スズメ	ウグイス	ウグイス				*	
465	スズメ	ウグイス	ヤブサメ				NT	
466	スズメ	エナガ	エナガ					
477	スズメ	ムシクイ	メボソムシクイ				VU	
479	スズメ	ムシクイ	エゾムシクイ				VU	
480	スズメ	ムシクイ	センダイムシクイ				VU	
485	スズメ	メジロ	メジロ					
502	スズメ	ゴジュウカラ	ゴジュウカラ				NT	
503	スズメ	キバシリ	キバシリ				NT	
504	スズメ	ミソサザイ	ミソサザイ					
512	スズメ	カワガラス	カワガラス				NT	
513	スズメ	ヒタキ	マミジロ				VU	
514	スズメ	ヒタキ	トラツグミ				NT	
518	スズメ	ヒタキ	クロツグミ				NT	
521	スズメ	ヒタキ	シロハラ					
522	スズメ	ヒタキ	アカハラ					
525	スズメ	ヒタキ	ツグミ					
530	スズメ	ヒタキ	コマドリ				VU	
534	スズメ	ヒタキ	コルリ				EN	
536	スズメ	ヒタキ	ルリヒタキ					
540	スズメ	ヒタキ	ジョウビタキ					

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件※2				
				I	II	III	IV	V
554	スズメ	ヒタキ	コサメヒタキ				VU	
558	スズメ	ヒタキ	キビタキ					
561	スズメ	ヒタキ	オオルリ				NT	
564	スズメ	イワヒバリ	イワヒバリ					
566	スズメ	イワヒバリ	カヤクグリ				NT	
569	スズメ	スズメ	スズメ					
573	スズメ	セキレイ	キセキレイ					
574	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ					
580	スズメ	セキレイ	ビンズイ					
586	スズメ	アトリ	アトリ					
587	スズメ	アトリ	カワラヒワ					
588	スズメ	アトリ	マヒワ					
599	スズメ	アトリ	ウソ				VU	
600	スズメ	アトリ	シメ					
602	スズメ	アトリ	イカル					
610	スズメ	ホオジロ	ホオジロ				NT	
617	スズメ	ホオジロ	カシラダカ				NT	
624	スズメ	ホオジロ	アオジ					
8	ハト	ハト	カワラバト					
21	スズメ	チメドリ	ガビチョウ					特定
25	スズメ	チメドリ	ソウシチョウ					特定
計	12目	33科	81種	1種	1種	4種	44種	2種

※1 「No.」は「日本鳥類目録 第7版」（平成24年9月日本鳥学会）による。

※2 種の指定等の要件

I 「文化財保護法」で定める天然記念物及び特別天然記念物

特別天然記念物：特天、天然記念物：天然

II 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」

国内希少野生動植物：希少

III 「日本の絶滅のおそれのある野生生物〔鳥類〕」（環境省編 2020年）

絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧ⅠA類：CR、絶滅危惧ⅠB類：EN、絶滅危惧Ⅱ類：VU

準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、絶滅のおそれのある地域個体群：LP

IV 「東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）－2020年見直し版－」西多摩ランク（東京都 2023年）

絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧ⅠA類：CR、絶滅危惧ⅠB類：EN、絶滅危惧Ⅰ類：CR+EN

絶滅危惧Ⅱ類：VU、準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、留意種：\*

V 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

特定外来生物：特定

※※調査結果は現地調査及び文献調査による。現地調査は特別保護地区内で実施。文献調査は特別保護地区の周辺を含む広域での調査結果による。

別表3 特別保護地区内に生息する獣類リスト

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件※2				
				I	II	III	IV	V
5	モグラ	トガリネズミ	シントウトガリネズミ				NT	
14	モグラ	モグラ	ヒメヒミズ				NT	
15	モグラ	モグラ	ヒミズ					
18	モグラ	モグラ	アズマモグラ					
25	コウモリ	キクガシラコウモリ	コキクガシラコウモリ				NT	
30	コウモリ	ヒナコウモリ	モモジロコウモリ				NT	
39	コウモリ	ヒナコウモリ	モリアブラコウモリ			VU	VU	
44	コウモリ	ヒナコウモリ	ヤマコウモリ			VU	VU	
46	コウモリ	ヒナコウモリ	ヒナコウモリ				NT	
56	サル	オナガザル	ニホンザル				NT	
58	ネコ	イヌ	タヌキ					
59	ネコ	イヌ	キツネ					
65	ネコ	イタチ	テン					
67	ネコ	イタチ	ホンドイタチ					
72	ネコ	イタチ	アナグマ					
85	ネコ	クマ	ツキノワグマ				NT	
86	ネコ	ジャコウネコ	ハクビシン					
129	ウシ	イノシシ	イノシシ					
130	ウシ	シカ	ニホンジカ					
132	ウシ	ウシ	ニホンカモシカ	特天			VU	
136	ネズミ	リス	ニホンリス					
138	ネズミ	リス	モモンガ					
140	ネズミ	リス	ムササビ					
144	ネズミ	ネズミ	ヤチネズミ				NT	
145	ネズミ	ネズミ	スミスネズミ					
146	ネズミ	ネズミ	ハタネズミ				*	
151	ネズミ	ネズミ	アカネズミ					
152	ネズミ	ネズミ	ヒメネズミ					
159	ネズミ	ヤマネ	ヤマネ					
164	ウサギ	ウサギ	ノウサギ					
計	7目	16科	30種	1種	0種	2種	12種	0種

※1 「No.」は「日本野生鳥獣目録」（平成14年7月環境省）による。

※2 種の指定等の要件

I 「文化財保護法」で定める天然記念物及び特別天然記念物

特別天然記念物：特天、天然記念物：天然

II 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」

国内希少野生動植物：希少

III 「日本の絶滅のおそれのある野生生物〔哺乳類〕」（環境省編 2020年）

絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧ⅠA類：CR、絶滅危惧ⅠB類：EN、絶滅危惧Ⅱ類：VU

準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、絶滅のおそれのある地域個体群：LP

IV 「東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）－2020年見直し版－」西多摩ランク（東京都 2023年）

絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧ⅠA類：CR、絶滅危惧ⅠB類：EN、絶滅危惧Ⅰ類：CR+EN

絶滅危惧Ⅱ類：VU、準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、留意種：\*

V 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

特定外来生物：特定

※※調査結果は現地調査及び文献調査による。現地調査は特別保護地区内で実施。文献調査は特別保護地区の周辺を含む広域での調査結果による。

## 鳥獣保護区及び鳥獣保護区特別保護地区について

### 1 概要

#### (1) 鳥獣保護区

東京都では、鳥獣の保護を図るため、必要があると認められる地域を鳥獣保護区に指定している。

令和7年1月現在、39箇所 48,635ヘクタールの鳥獣保護区を指定している。

なお、鳥獣保護区では狩猟が禁止されている。

※根拠法令：「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年7月12日付法律第88号）」第28条

#### (2) 鳥獣保護区特別保護地区

東京都では、鳥獣保護区の区域において、鳥獣の保護及びその生息地の保護を図るため、特に必要があると認められる地域を特別保護地区に指定している。

令和7年1月現在、8箇所2,887ヘクタールの特別保護地区を指定している。

なお、特別保護地区では、狩猟の禁止に加え、一定の開発行為も規制されている。

※根拠法令：「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年7月12日付法律第88号）」第29条

##### <要許可行為>

- ・建築物その他工作物の新改増築
- ・水面の埋め立て又は干拓
- ・木竹の伐採 など

### 2 自然環境保全審議会との関係

#### (1) 鳥獣保護区

新規指定及び区域の拡張する時は、自然環境保全審議会への付議を要する。

#### (2) 鳥獣保護区特別保護地区

新規指定、区域の拡張及び存続期間を延長する時は、自然環境保全審議会への付議を要する。



奥多摩湖鳥獣保護区特別保護地区 調査結果比較表（鳥類） 現地調査のみ

参考資料2

No. <sup>※1</sup>	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件 <sup>※2</sup>					R6	H26
				I	II	III	IV	V		
4	キジ	キジ	ヤマドリ				VU		●	
24	カモ	カモ	オシドリ			DD	VU		●	
30	カモ	カモ	マガモ						●	
32	カモ	カモ	カルガモ						●	
38	カモ	カモ	コガモ						●	
74	ハト	ハト	キジバト						●	●
78	ハト	ハト	アオバト				NT		●	●
127	カツオドリ	ウ	カワウ						●	●
144	ペリカン	サギ	アオサギ						●	●
342	タカ	タカ	トビ				NT		●	●
372	フクロウ	フクロウ	フクロウ				VU		●	●
383	ブッボウソウ	カワセミ	カワセミ				NT		●	
390	キツツキ	キツツキ	コゲラ						●	●
393	キツツキ	キツツキ	アカゲラ				NT		●	
397	キツツキ	キツツキ	アオゲラ				NT		●	●
427	スズメ	カラス	カケス						●	●
436	スズメ	カラス	ハシブトガラス						●	●
441	スズメ	シジュウカラ	コガラ						●	
442	スズメ	シジュウカラ	ヤマガラ						●	●
443	スズメ	シジュウカラ	ヒガラ						●	●
445	スズメ	シジュウカラ	シジュウカラ						●	●
457	スズメ	ツバメ	ツバメ						●	
461	スズメ	ツバメ	イワツバメ				NT		●	
463	スズメ	ヒヨドリ	ヒヨドリ						●	●
464	スズメ	ウグイス	ウグイス				*		●	●
466	スズメ	エナガ	エナガ						●	●
480	スズメ	ムシクイ	センダイムシクイ				VU			●
485	スズメ	メジロ	メジロ						●	●
502	スズメ	ゴジュウカラ	ゴジュウカラ				NT		●	●
503	スズメ	キバシリ	キバシリ				NT		●	
504	スズメ	ミソサザイ	ミソサザイ				NT		●	●
512	スズメ	カワガラス	カワガラス				NT		●	●
514	スズメ	ヒタキ	トラツグミ				NT		●	●
518	スズメ	ヒタキ	クロツグミ				NT		●	●
521	スズメ	ヒタキ	シロハラ						●	
536	スズメ	ヒタキ	ルリビタキ						●	●
540	スズメ	ヒタキ	ジョウビタキ						●	
566	スズメ	イワヒバリ	カヤクグリ				NT		●	●
569	スズメ	スズメ	スズメ						●	
573	スズメ	セキレイ	キセキレイ						●	
574	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ						●	
575	スズメ	セキレイ	セグロセキレイ				NT			●
586	スズメ	アトリ	アトリ							●
587	スズメ	アトリ	カワラヒワ						●	●
588	スズメ	アトリ	マヒワ							●
592	スズメ	アトリ	ベニマシコ				NT			●
602	スズメ	アトリ	イカル				NT			●
610	スズメ	ホオジロ	ホオジロ				NT		●	●
624	スズメ	ホオジロ	アオジ						●	

奥多摩湖鳥獣保護区特別保護地区 調査結果比較表（鳥類） 現地調査のみ

参考資料2

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件※2					R6	H26
				I	II	III	IV	V		
21	スズメ	チメドリ	ガビチョウ					特定	●	●
計	10目	28科	50種	0種	0種	1種	22種	1種	<b>44種</b>	<b>33種</b>

※1 「No.」は「日本鳥類目録 第7版」（平成24年9月日本鳥学会）による。

※2 種の指定等の要件

- I 「文化財保護法」で定める天然記念物及び特別天然記念物  
特別天然記念物：特天、天然記念物：天然
- II 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」  
国内希少野生動植物：希少
- III 「日本の絶滅のおそれのある野生生物〔鳥類〕」（環境省編 2020年）  
絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧 I A類：CR、絶滅危惧 I B類：EN、絶滅危惧 II類：VU  
準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、絶滅のおそれのある地域個体群：LP
- IV 「東京都の保護上重要な野生生物種（本上部）－2020年見直し版－」西多摩ランク（東京都 2023年）  
絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧 I A類：CR、絶滅危惧 I B類：EN、絶滅危惧 I類：CR+EN  
絶滅危惧 II類：VU、準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、留意種：\*
- V 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」  
特定外来生物：特定

奥多摩湖鳥獣保護区特別保護地区 調査結果比較表（哺乳類） 現地調査のみ

参考資料2

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件※2					R6	H26
				I	II	III	IV	V		
18	モグラ	モグラ	アズマモグラ							●
56	サル	オナガザル	ニホンザル				NT		●	●
58	ネコ	イヌ	タヌキ						●	
59	ネコ	イヌ	キツネ						●	
65	ネコ	イタチ	テン						●	●
67	ネコ	イタチ	ホンドイタチ							●
72	ネコ	イタチ	アナグマ							●
85	ネコ	クマ	ツキノワグマ				NT		●	●
86	ネコ	ジャコウネコ	ハクビシン						●	
129	ウシ	イノシシ	イノシシ						●	●
130	ウシ	シカ	ニホンジカ						●	●
136	ネズミ	リス	ニホンリス						●	●
140	ネズミ	リス	ムササビ						●	●
151	ネズミ	ネズミ	アカネズミ							●
計	5目	10科	14種	0種	0種	0種	2種	0種	10種	11種

※1 「No.」は「日本野生鳥獣目録」（平成14年7月環境省）による。

※2 種の指定等の要件

I 「文化財保護法」で定める天然記念物及び特別天然記念物

特別天然記念物：特天、天然記念物：天然

II 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」

国内希少野生動植物：希少

III 「日本の絶滅のおそれのある野生生物 [哺乳類]」（環境省編 2020年）

絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧 I A類：CR、絶滅危惧 I B類：EN、絶滅危惧 II類：VU

準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、絶滅のおそれのある地域個体群：LP

IV 「東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）—2020年見直し版—」西多摩ランク（東京都 2023年）

絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧 I A類：CR、絶滅危惧 I B類：EN、絶滅危惧 I類：CR+EN

絶滅危惧 II類：VU、準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、留意種：\*

V 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

特定外来生物：特定

奥多摩湖鳥獣保護区特別保護地区 調査結果比較表（鳥類） 現地調査及び文献調査

参考資料2

No. <sup>※1</sup>	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件 <sup>※2</sup>					R6 <sup>※3</sup>	H26 <sup>※3</sup>	H16 <sup>※3</sup>
				I	II	III	IV	V			
4	キジ	キジ	ヤマドリ				VU		●	●	
5	キジ	キジ	キジ				NT			●	
24	カモ	カモ	オシドリ			DD	VU		●	●	
30	カモ	カモ	マガモ						●	●	
32	カモ	カモ	カルガモ						●	●	
38	カモ	カモ	コガモ						●		
59	カモ	カモ	カワアイサ							●	
62	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ				NT			●	
74	ハト	ハト	キジバト						●	●	
78	ハト	ハト	アオバト				NT		●	●	
127	カツオドリ	ウ	カワウ						●	●	
144	ペリカン	サギ	アオサギ						●	●	
183	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ				NT		●	●	
185	カッコウ	カッコウ	ホトトギス				NT		●	●	
187	カッコウ	カッコウ	ツツドリ				NT		●	●	
188	カッコウ	カッコウ	カッコウ				VU		●		
192	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ				DD		●	●	
342	タカ	タカ	トビ				NT		●	●	
354	タカ	タカ	ツミ				NT		●		
355	タカ	タカ	ハイタカ			NT	VU		●	●	
356	タカ	タカ	オオタカ			NT	VU			●	
358	タカ	タカ	ノスリ				NT		●	●	
363	タカ	タカ	イスワシ	天	希少	EN			●		
364	タカ	タカ	クマタカ		希少	EN	EN			●	
372	フクロウ	フクロウ	フクロウ				VU		●	●	
383	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ				NT		●	●	
385	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ				EN		●	●	
390	キツツキ	キツツキ	コゲラ						●	●	
392	キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ				NT		●	●	
393	キツツキ	キツツキ	アカゲラ				NT		●	●	
397	キツツキ	キツツキ	アオゲラ				NT		●	●	
407	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ		希少	VU	CR			●	
412	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ			VU	CR		●		
420	スズメ	モズ	モズ				NT		●	●	
427	スズメ	カラス	カケス						●	●	
435	スズメ	カラス	ハシボンガラス						●	●	
436	スズメ	カラス	ハシブトガラス						●	●	
438	スズメ	キクイタダキ	キクイタダキ				VU		●	●	
441	スズメ	シジュウカラ	コガラ						●	●	
442	スズメ	シジュウカラ	ヤマガラ						●	●	
443	スズメ	シジュウカラ	ヒガラ						●	●	
445	スズメ	シジュウカラ	シジュウカラ						●	●	
457	スズメ	ツバメ	ツバメ						●	●	
461	スズメ	ツバメ	イワツバメ				NT		●	●	
463	スズメ	ヒヨドリ	ヒヨドリ						●	●	
464	スズメ	ウグイス	ウグイス				*		●	●	
465	スズメ	ウグイス	ヤブサメ				NT		●	●	

奥多摩湖鳥獣保護区特別保護地区 調査結果比較表（鳥類） 現地調査及び文献調査

参考資料2

No. <sup>*1</sup>	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件 <sup>*2</sup>					R6 <sup>*3</sup>	H26 <sup>*3</sup>	H16 <sup>*3</sup>
				I	II	III	IV	V			
466	スズメ	エナガ	エナガ						●	●	●
477	スズメ	ムシクイ	メボソムシクイ				VU		●		
479	スズメ	ムシクイ	エゾムシクイ				VU		●		●
480	スズメ	ムシクイ	センダイムシクイ				VU		●	●	●
485	スズメ	メジロ	メジロ						●	●	●
502	スズメ	ゴジュウカラ	ゴジュウカラ				NT		●	●	●
503	スズメ	キバシリ	キバシリ				NT		●		●
504	スズメ	ミソサザイ	ミソサザイ				NT		●	●	●
506	スズメ	ムクドリ	ムクドリ								●
512	スズメ	カワガラス	カワガラス				NT		●	●	●
513	スズメ	ヒタキ	マミジロ				VU		●	●	
514	スズメ	ヒタキ	トラツグミ				NT		●	●	●
518	スズメ	ヒタキ	クロツグミ				NT		●	●	●
521	スズメ	ヒタキ	シロハラ						●		●
522	スズメ	ヒタキ	アカハラ						●	●	
525	スズメ	ヒタキ	ツグミ						●	●	●
530	スズメ	ヒタキ	コマドリ				VU		●	●	
534	スズメ	ヒタキ	コルリ				EN		●		
536	スズメ	ヒタキ	ルリビタキ						●	●	●
540	スズメ	ヒタキ	ジョウビタキ						●	●	●
552	スズメ	ヒタキ	エゾビタキ							●	
554	スズメ	ヒタキ	コサメビタキ				VU		●		
558	スズメ	ヒタキ	キビタキ						●	●	●
561	スズメ	ヒタキ	オオルリ				NT		●	●	●
564	スズメ	イワヒバリ	イワヒバリ						●		
566	スズメ	イワヒバリ	カヤクグリ				NT		●	●	●
569	スズメ	スズメ	スズメ						●	●	●
573	スズメ	セキレイ	キセキレイ						●	●	●
574	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ						●	●	●
575	スズメ	セキレイ	セグロセキレイ				NT			●	●
580	スズメ	セキレイ	ピンズイ						●		
586	スズメ	アトリ	アトリ						●	●	●
587	スズメ	アトリ	カワラヒワ						●	●	●
588	スズメ	アトリ	マヒワ						●	●	●
591	スズメ	アトリ	ハギマシコ				DD				●
592	スズメ	アトリ	ベニマシコ				NT			●	●
599	スズメ	アトリ	ウソ				VU		●	●	●
600	スズメ	アトリ	シメ						●	●	●
602	スズメ	アトリ	イカル				NT		●	●	●
610	スズメ	ホオジロ	ホオジロ				NT		●	●	●
617	スズメ	ホオジロ	カシラダカ				NT		●	●	●
618	スズメ	ホオジロ	ミヤマホオジロ								●
624	スズメ	ホオジロ	アオジ						●	●	●
625	スズメ	ホオジロ	クロジ				EN				●
1	キジ	キジ	コジュケイ							●	●
8	ハト	ハト	カワラバト						●	●	●

奥多摩湖鳥獣保護区特別保護地区 調査結果比較表（鳥類） 現地調査及び文献調査

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件※2					R6※3	H26※3	H16※3
				I	II	III	IV	V			
21	スズメ	チメドリ	ガビチョウ					特定	●	●	●
25	スズメ	チメドリ	ソウシチョウ					特定	●	●	
計	14目	36科	95種	1種	3種	7種	52種	2種	<b>81種</b>	<b>71種</b>	<b>77種</b>

※1 「No」は「日本鳥類目録 第7版」（平成24年9月日本鳥学会）による。

※2 種の指定等の要件

I 「文化財保護法」で定める天然記念物及び特別天然記念物

特別天然記念物：特天、天然記念物：天然

II 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」

国内希少野生動植物：希少

III 「日本の絶滅のおそれのある野生生物〔鳥類〕」（環境省編 2020年）

絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧ⅠA類：CR、絶滅危惧ⅠB類：EN、絶滅危惧Ⅱ類：VU

準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、絶滅のおそれのある地域個体群：LP

IV 「東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）—2020年見直し版—」西多摩ランク（東京都 2023年）

絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧ⅠA類：CR、絶滅危惧ⅠB類：EN、絶滅危惧Ⅰ類：CR+EN

絶滅危惧Ⅱ類：VU、準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、留意種：\*

V 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

特定外来生物：特定

※3 現地調査及び文献調査の結果による。現地調査はR6, H26では特別保護地区内で実施、H16では鳥獣保護区全域で実施。  
文献調査はR6, H26, H16全て特別保護地区を含む広域での調査結果による。

奥多摩湖鳥獣保護区特別保護地区 調査結果比較表（哺乳類） 現地調査及び文献調査

参考資料2

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件※2					R6※3	H26※3	H16※3
				I	II	III	IV	V			
5	モグラ	トガリネズミ	シントウトガリネズミ				NT		●		
8	モグラ	トガリネズミ	カワネズミ				NT			●	●
11	モグラ	トガリネズミ	ジネズミ				DD				●
14	モグラ	モグラ	ヒメヒミズ				NT		●		
15	モグラ	モグラ	ヒミズ						●		●
18	モグラ	モグラ	アズマモグラ						●	●	●
24	コウモリ	キツネ科	キクガシラコウモリ				VU				●
25	コウモリ	キツネ科	コキクガシラコウモリ				NT		●		
30	コウモリ	ヒナコウモリ	モモジロコウモリ				NT		●	●	●
39	コウモリ	ヒナコウモリ	モリアブラコウモリ			VU	VU		●		
44	コウモリ	ヒナコウモリ	ヤマコウモリ			VU	VU		●		●
46	コウモリ	ヒナコウモリ	ヒナコウモリ				NT		●		
52	コウモリ	ヒナコウモリ	コテングコウモリ				NT				●
56	サル	オナガザル	ニホンザル				NT		●	●	●
58	ネコ	イヌ	タヌキ						●	●	●
59	ネコ	イヌ	キツネ						●	●	●
65	ネコ	イタチ	テン						●	●	●
67	ネコ	イタチ	ホンドイタチ						●	●	●
72	ネコ	イタチ	アナグマ						●	●	●
85	ネコ	クマ	ツキノワグマ				NT		●	●	●
86	ネコ	ジャコウネコ	ハクビシン						●	●	●
129	ウシ	イノシシ	イノシシ						●	●	●
130	ウシ	シカ	ニホンジカ						●	●	●
132	ウシ	ウシ	ニホンカモシカ	特天			VU		●	●	●
136	ネズミ	リス	ニホンリス						●	●	●
138	ネズミ	リス	ホンドモモンガ						●		●
140	ネズミ	リス	ムササビ						●	●	●
144	ネズミ	ネズミ	ヤチネズミ				NT		●		
145	ネズミ	ネズミ	スミスネズミ						●		●
146	ネズミ	ネズミ	ハタネズミ				*		●		
151	ネズミ	ネズミ	アカネズミ						●	●	●
152	ネズミ	ネズミ	ヒメネズミ						●	●	●
159	ネズミ	ヤマネ	ヤマネ						●		●
164	ウサギ	ウサギ	ノウサギ						●	●	●
計	7目	16科	34種	1種	0種	2種	16種	0種	30種	19種	27種

※1 「No.」は「日本野生鳥獣目録」（平成14年7月環境省）による。

※2 種の指定等の要件

I 「文化財保護法」で定める天然記念物及び特別天然記念物

特別天然記念物：特天、天然記念物：天然

II 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」

国内希少野生動植物：希少

III 「日本の絶滅のおそれのある野生生物〔哺乳類〕」（環境省編 2020年）

絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧ⅠA類：CR、絶滅危惧ⅠB類：EN、絶滅危惧Ⅱ類：VU

準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、絶滅のおそれのある地域個体群：LP

IV 「東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）—2020年見直し版—」西多摩ランク（東京都 2023年）

絶滅：EX、野生絶滅：EW、絶滅危惧ⅠA類：CR、絶滅危惧ⅠB類：EN、絶滅危惧Ⅰ類：CR+EN

絶滅危惧Ⅱ類：VU、準絶滅危惧：NT、情報不足：DD、留意種：\*

V 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

特定外来生物：特定

※3 現地調査及び文献調査の結果による。現地調査はR6、H26では特別保護地区区内で実施、H16では鳥獣保護区全域で実施。文献調査はR6、H26、H16全て特別保護地区を含む広域での調査結果による。

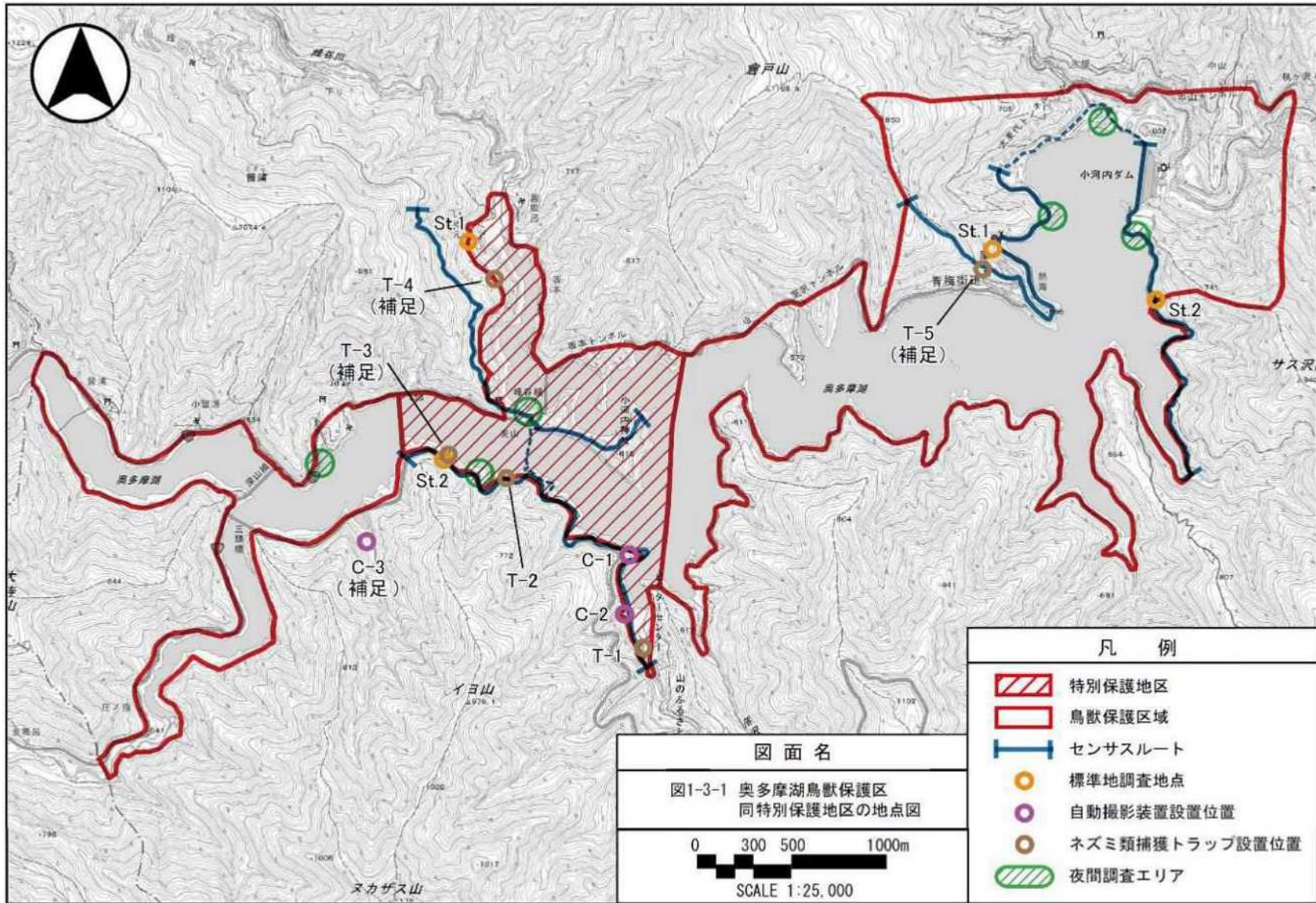
令和6年度  
鳥獣保護区生息状況調査委託  
中間報告書

( 抜 粋 )

令和6年11月

東京都環境局自然環境部計画課  
株式会社 アーバンエコリサーチ





### (3) 現地調査

現地調査は、夏季及び冬季（奥多摩湖鳥獣保護区、同特別保護地区においてのみ）に実施した。

調査日の設定にあたっては鳥獣相を的確に確認できるよう留意し、雨天・荒天を除く日の適切な時間帯（原則として早朝）に実施した。現地調査の実施に際しては調査地管理者に事前に必要な連絡調整を行った。

現地調査は当該調査に精通した複数の調査員により実施した。調査員は「日本野生鳥獣目録」（平成14年7月環境省自然環境局野生生物課）記載の鳥類及び哺乳類をフィールドサインにより判別できる者とした。調査の実施状況は表1-3-2に示すとおりである。

表1-3-2 現地調査実施状況

調査対象地域	季節	調査年月日	調査内容	調査時間	天候
奥多摩湖鳥獣保護区	夏季	令6.8.22	鳥獣調査（ラインセンサス）	6:50～12:30	曇
	冬季	令6.12.3	鳥獣調査（ラインセンサス）	7:00～12:00	晴
		令6.12.6	鳥獣調査（ラインセンサス）	8:00～13:30	晴
奥多摩湖鳥獣保護区 同特別保護地区	夏季	令6.8.23	鳥獣調査（ラインセンサス）	6:45～13:00	晴
		令6.8.21～23	ネズミ類捕獲調査	—	—
		令6.9.25～26	ネズミ類捕獲調査（補足）	—	—
		令6.10.7～8	ネズミ類捕獲調査（補足）	—	—
	冬季	令6.8.21	フクロウ類夜間調査	19:15～21:00	曇
		令6.8.22	フクロウ類夜間調査	18:30～20:30	曇
		令6.12.2	鳥獣調査（ラインセンサス）	7:00～13:30	晴
		令6.12.5	鳥獣調査（ラインセンサス）	9:20～14:00	晴
	令6.12.5	フクロウ類夜間調査（補足）	16:30～19:00	曇	
	令6.11.11～12.2	自動撮影調査	—	—	
大島泉津鳥獣保護区	夏季	令6.9.17	鳥獣調査（ラインセンサス）	5:20～11:30	晴
		令6.9.18	鳥獣調査（ラインセンサス）	5:30～11:00	晴
上野恩賜公園鳥獣保護区	夏季	令6.9.25	鳥獣調査（ラインセンサス）	5:45～12:30	晴

## 1) 調査方法

### a) 鳥類調査

鳥類調査は、ラインセンサス法とフクロウ繁殖期の鳴き交わしの確認を目的とした夜間調査を実施した。その調査方法を表 1-3-3 に示す。

なお、調査ルート外であっても当該区域内に出現した鳥類についても記録するよう努めた。



表 1-3-3 鳥類調査

調査内容	調査方法
ラインセンサス法	<p>・ 調査範囲内の地形の状況や優占する植生の分布等を考慮し、あらかじめ設定した調査ルート上を歩行速度 1.5km/h～2km/h 程度で歩きながら、一定の範囲内に出現する鳥類を姿や鳴き声により識別して、種別や確認状況を記録した。</p>  <p>ラインセンサス法</p>
フクロウ類 夜間調査	<p>・ 夜間調査は、奥多摩湖の特別保護地区内において調査定点を設定し、繁殖の鳴き交わしの有無について確認を行った。</p>  <p>夜間調査（ポイントセンサス）</p>

**b) 哺乳類調査**

哺乳類調査は、ラインセンサス法、自動撮影（センサーカメラ）及びネズミ類捕獲調査（シャーマントラップ法）とし、その調査方法を表 1-3-4 に示す。なお、調査ルート外であっても当該区域内に出現した哺乳類についても記録するよう努めた。

**表 1-3-4 哺乳類調査**

調査内容	調査方法
<p>ラインセンサス法</p>	<p>・あらかじめ設定した調査ルートを踏査して、個体の目視確認及び主に大型・中型哺乳類のフィールドサイン（糞、足跡、食痕、掘り返し、爪痕及び塚等の生息痕跡）を確認した。痕跡を確認したら位置、種の推定等や写真撮影を行い記録した。</p>  <p style="text-align: right;">ラインセンサス法</p>
<p>自動撮影調査（センサーカメラ）</p>	<p>・センサーカメラは、けものみちと想定される箇所付近の樹木等に設置した。奥多摩湖鳥獣保護区（特別保護地区を含む）では尾根の斜面地、谷地形内の 3 箇所（補足 1 箇所含む）に 20 日間程設置した。</p>  <p style="text-align: right;">センサーカメラ</p>
<p>ネズミ類捕獲調査（シャーマントラップ法）</p>	<p>・シャーマン型トラップを使用してネズミ類を捕獲した。トラップの設置は奥多摩湖鳥獣保護区の特別保護地区内において尾根部と谷地形内に各 1 箇所の 2 箇所とし、1 箇所あたり 20 台設置、設置は一晩とした。誘引餌はくるみ、ビーフジャーキー、押し麦を混合したものをを用いた。採取したネズミ類は同定を行い、種名等を確認した。</p>  <p style="text-align: right;">シャーマントラップ法</p>

#### (4) 文献調査

調査対象区域について、自然環境調査の報告書、継続的に野鳥調査を行う自然観察グループや日本野鳥の会等の各種団体の観察記録、その他の文献資料を収集し、当該区域に生息する鳥獣相をとりまとめることとした。

文献調査での文献収集先（ヒアリング先）と参考文献（ヒアリング記録）等を表1-4-5に示す。

表 1-4-5 調査（ヒアリング）結果

調査対象地域	収集先（ヒアリング）	参考文献（ヒアリング記録）
奥多摩湖 鳥獣保護区	・奥多摩ビジターセンター	・「登山道調査記録」及び「奥多摩を歩こう！」の提供を受ける。（結果は文献調査欄に反映）
奥多摩湖 鳥獣保護区 特別保護地区		

#### (5) 現地調査とりまとめ

調査対象地域について、鳥獣調査の成果としてとりまとめ、以下第2章から第4章に調査結果と考察として示した。

各鳥獣の番号、目名、科名及び種名については、「日本鳥類目録（改定第7版）」（平成24年9月日本鳥学会）及び「日本野生鳥獣目録」（平成14年7月環境省自然環境局野生生物課）を参考にした。表中の選定基準に該当するものについては、該当するものの略称・記号を記載した。

## 第2章 調査結果と考察（奥多摩湖鳥獣保護区、同特別保護地区）

### 1. 標準地調査

標準地調査地点の植生群落一覧を表 2-1-1 に、標準地調査の結果を表 2-1-2～表 2-1-5 に示す。

表 2-1-1 標準地調査地点の植生群落一覧

調査対象地区	調査地点	調査年月日	群落名
奥多摩湖鳥獣保護区	St. 1	令和6年10月7日	スギ・ヒノキ・サワラ 植林
	St. 2		コナラ群落
奥多摩湖鳥獣保護区 同特別保護地区	St. 1	令和6年10月7日	ミズナラ優占林
	St. 2		コナラ群落

表 2-1-2 標準地調査 (奥多摩湖鳥獣保護区 St.1)

No. St.1 (群落名)	スギ・ヒノキ・サワラ植林			調査年月日	令和6年10月7日
(地形)	山頂:尾根:斜面:上:中:下:凸:凹:谷:平地			方位	NE
(土壌)	ボト性:褐森:赤:黄:黄褐森:アンド: グライ:凝グライ:沼沢:沖積:高湿草: 非固岩層:固岩層:水面下:その他(腐積土を含む)			(風当) 強・ <b>中</b> ・弱 (日当) 陽・中陰・陰 (土湿) 乾・ <b>適</b> ・湿・過湿	傾斜 30° 面積 10 x 10 m 出現種数 13
(階層)	(優占種)	高さ(m)	(植被率%)	(種数)	
T1 高木層	ヒノキ	20	60	3	
T2 亜高木層					
S1 低木層1	モミ	1	10	4	
S2 低木層2					
H1 草本層1	オオバノイノモトソウ	0.3	10	7	
H2 草本層2					

S	DS	V	spp.	S	DS	V	spp.	S	DS	V	spp.
T1	3・3		ヒノキ	S1	1・1		モミ	H1	+		オオバノイノモトソウ
	1・1		スギ		1・1		マルバウツギ		+		スギ
	1・1		サワラ		1・1		イヌツゲ		+		ヤマブキ
					1・1		ウツギ		+		イヌザンショウ
									+		ノササゲ
									+		サルトリイバラ
									+		キツタ

標準地調査地点



S: 階層、D・S: 被度・群度、spp.: 種名
鳥獣調査(フィールドサインの有無)
確認なし

表 2-1-3 標準地調査 (奥多摩湖鳥獣保護区 St.2)

No. St.2 (群落名)コナラ群落				調査年月日：令和6年10月7日			
(地形)	山頂:尾根:斜面:上:中:下:凸:凹:谷:平地				方位	W	
(土壌)	ボト性:褐森:赤・黄・黄褐森:アンド・ グライ・凝グライ・沼沢・沖積・高湿草・ 非固岩層・固岩層・水面下・その他(崩壊土を含む)				(風当) 強・ <b>中</b> ・弱	傾斜	35°
					(日当) 陽・ <b>中陰</b> ・陰	面積	10x10 m
					(土湿) 乾・ <b>適</b> ・湿・過湿	出現種数	6
(階層)	(優占種)	高さm)	(植被率%)	(種数)			
T1 高木層	コナラ	25	90	1			
T2 亜高木層	クマシデ	10	10	1			
S1 低木層1	アカシデ	2	5	2			
S2 低木層2							
H1 草本層1	モミ	0.1	5	2			
H2 草本層2							

S	DS	V	spp.	S	DS	V	spp.	S	DS	V	spp.
T1	5・5		コナラ	S1	1・1		アカシデ	H1	+		モミ
					1・1		リョウブ		+		タチツボスミレ
T2	1・1		クマシデ								
標準地調査地点											
											

S: 階層、D・S: 被度・群度、spp.: 種名

鳥獣調査(フィールドサインの有無)
確認なし



表 2-1-4 標準地調査 (奥多摩湖鳥獣保護区 同特別保護地区 St.1)

No. St.1 (群落名)ミズナラ優占林				調査年月日: 令和6年10月7日	
(地形)	山頂:尾根:斜面:上:中:下:凸:凹:谷:平地			方位	N
(土壌)	ボト性:褐森:赤:黄:黄褐森:アンド:			傾斜	35°
	グライ:凝グライ:沼沢:沖積:高湿草:			面積	10 x 10 m
	非固岩層:固岩層:水面下:その他 (崩壊土を含む)			出現種数	8
(階層)	(優占種)	高さ(m)	(植被率%)	(種数)	
T1	高木層	ミズナラ	25	90	2
T2	亜高木層	オオモミジ	15	20	3
S1	低木層1	モミ	2	5	2
S2	低木層2				
H1	草本層1	テイカカズラ	0.5	1	2
H2	草本層2				

S	DS	V	spp.	S	DS	V	spp.	S	DS	V	spp.
T1	4・3		ミズナラ	S1	1・1		モミ	H1	+		テイカカズラ
	1・1		イヌシデ		+		マルバウツギ		+		ケヤキ
T2	1・1		オオモミジ								
	1・1		イタヤカエデ								
	1・1		モミ								

イタチ科の一種(糞)

標準地調査地点



S: 階層、D・S: 被度・群度、spp.: 種名

---

鳥獣調査(フィールドサインの有無)

イタチ科の一種(糞)

表 2-1-5 標準地調査 (奥多摩湖鳥獣保護区 同特別保護地区 St.2)

No. St.2 (群落名)コナラ群落			調査年月日: 令和6年10月7日		
(地形)	山頂:尾根:斜面:上:中:下:凸:凹:谷:平地				方位 NE
(土壌)	ボト性:褐森:赤・黄・黄褐森:アンド・		(風当) 強・中・弱		傾斜 35°
	グライ・凝グライ・沼沢・沖積・高湿草・		(日当) 陽・中陰・陰		面積 10x10 m
	非固岩層・固岩層・水面下・その他 (腐殖土を含む)		(土湿) 乾・適・湿・過湿		出現種数 8
(階層)	(優占種)	高さm)	(植被率%)	(種数)	
T1	高木層 コナラ	25	90	2	
T2	垂高木層 オオモミジ	15	20	3	
S1	低木層1 マルバウツギ	0.8	5	1	
S2	低木層2				
H1	草本層1 カシワバハグマ	0.2	5	2	
H2	草本層2				

S	DS	V	spp.	S	DS	V	spp.	S	DS	V	spp.
T1	4・4		コナラ	S1	1・1		マルバウツギ	H1	+		カシワバハグマ
	1・1		ヤマザクラ						+		アズマネザサ
T2	1・1		オオモミジ								
	1・1		モミ								
	1・1		アカシデ								

ニホンリス(食痕)



標準地調査地点



S: 階層、D・S: 被度・群度、spp.: 種名
鳥獣調査(フィールドサインの有無)
ニホンリス(食痕)

## 2. 鳥獣調査

### (1) 結果の概要

現地調査で確認された鳥獣（鳥類、哺乳類）の確認種数及び指定種の確認状況を表 2-2-1 に示す。

当該地域内で鳥類では、猛禽類としてトビ、ハイタカ、クマタカ及びフクロウの 4 種が、水鳥としてオシドリ、マガモ、カルガモ、コガモ、ホシハジロ、カワウ、アオサギ及びカワセミの 8 種が、陸鳥としてヤマドリ、キジバト、アオバト、コゲラ、アカゲラ、アオゲラ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、キクイタダキ、コガラ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ゴジュウカラ、キバシリ、ミソサザイ、カワガラス、トラツグミ、クロツグミ、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、カヤクグリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ及びガビチョウの 39 種が確認されている。また、哺乳類では、大型哺乳類としてツキノワグマ、イノシシ、ニホンジカ及びニホンカモシカの 4 種が、中型哺乳類としてニホンザル、タヌキ、キツネ、アナグマ (SP)、イタチ科の一種、アライグマ及びハクビシン (SP) の 7 種が、小型哺乳類としてモグラ属の一種、ニホンリス、ムササビ、アカネズミ及びネズミ科の一種の 5 種が確認されている。

また、自動撮影調査では、ニホンザル、タヌキ、キツネ、テン、ハクビシン、イノシシ及びニホンジカの 7 種が確認されている。

現地調査で確認された各種の内、重要な種の選定に該当する指定種については確認位置図を図 2-2-1 に示す。

ネズミ類の捕獲調査については、8 月に実施の調査では特別保護地区内 (T-1 及び T-2 地点) において捕獲の確認はなく、鳥獣保護地区内に設置の T-5 地点においてアカネズミ (雌) を一頭捕獲した。

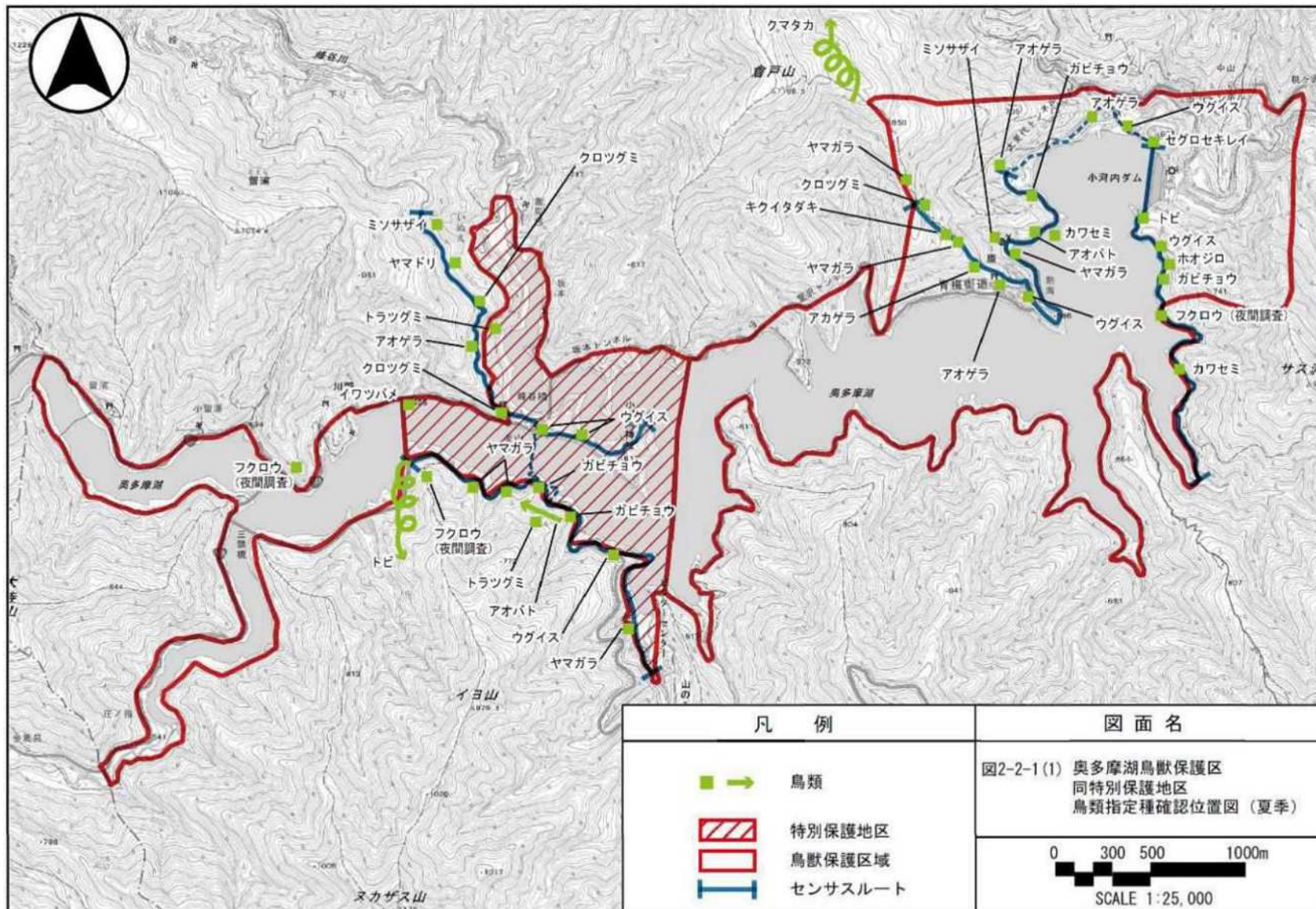
その後、9 月及び標準地調査を実施した 10 月に補足的に調査を試みたものの、各々の調査においても捕獲の確認はなかった。

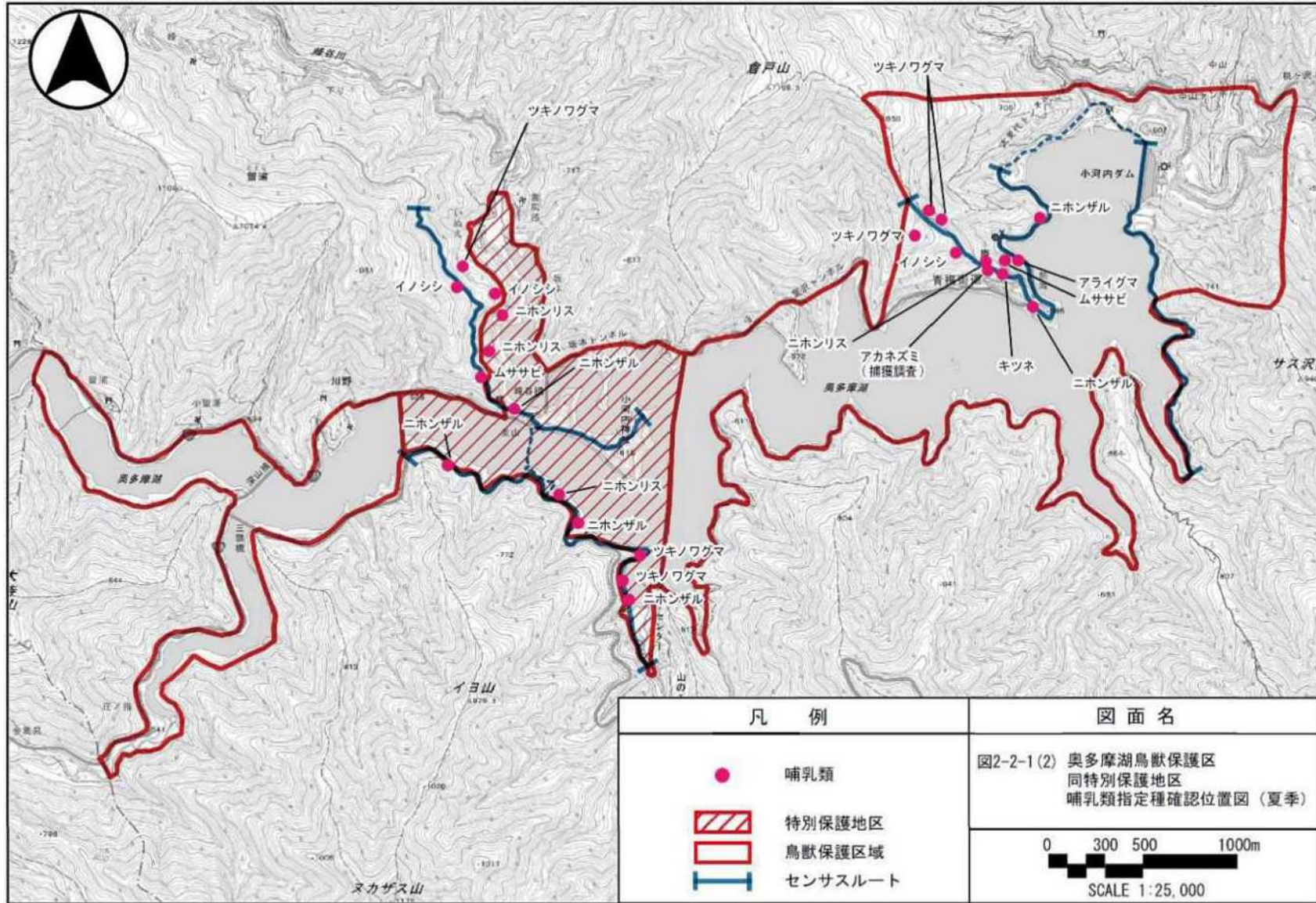
同保護地区内においては、全般的に林床の植生の発達が貧弱であり、ネズミ類やモグラ類の棲み家となる草本類や低木類の分布密度が相対的に低い状態にあることに起因しているものと推察される。

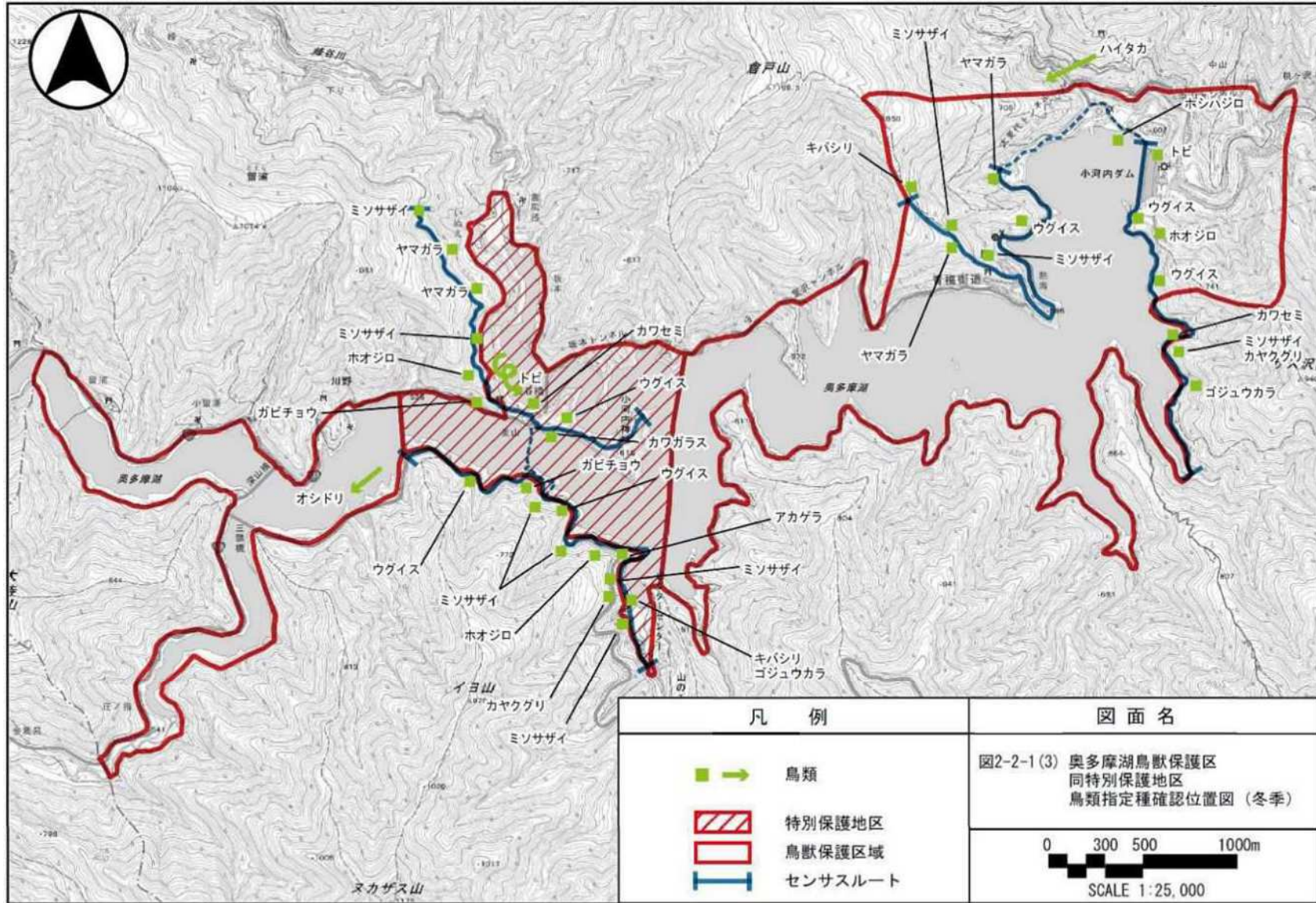
なお、林床の植生が疎らな状態にあるのはシカ類による食皮害も一因にあるものとも考えられる。

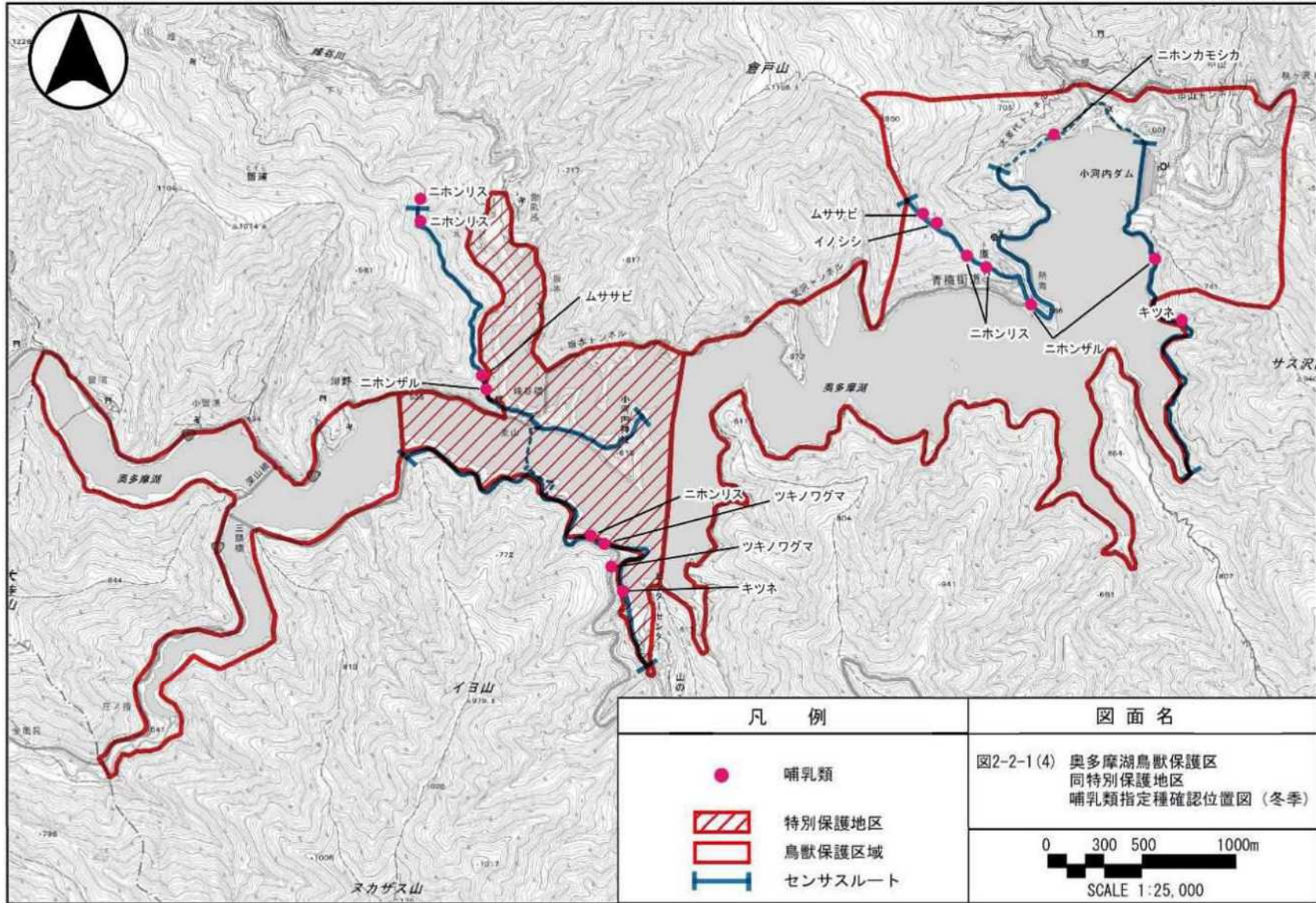
表 2-2-1 現地調査で確認された鳥獣確認種数及び指定種の確認状況

調査対象地域	ルート名	鳥類	哺乳類	指定種の確認状況
奥多摩湖鳥獣保護区	ライン センサス法	41 種	13 種	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：17 種、哺乳類：8 種 特定外来生物：鳥類・哺乳類各 1 種
	フクロウ類 夜間調査	1 種	-	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：1 種；哺乳類：該当なし
	ネズミ類 捕獲調査	-	1 種	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：該当なし、哺乳類：1 種 特定外来生物：該当なし
奥多摩湖鳥獣保護区 同特別保護地区	ライン センサス法	43 種	11 種	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：18 種；哺乳類：6 種 特定外来生物：鳥類 1 種
	フクロウ類 夜間調査	1 種	-	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：1 種；哺乳類：該当なし
	ネズミ類 捕獲調査	-	-	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：該当なし、哺乳類：該当なし 特定外来生物：該当なし
	自動撮影 調査	-	7 種	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：該当なし、哺乳類：4 種 特定外来生物：該当なし











現地調査において確認された種のうち、指定種等の選定については以下の表 2-2-2 に示す内容に準拠した。

表 2-2-2 現地調査で確認された指定種等の選定の参考資料

<p>(注1) 鳥獣の配列 (No.) 及び目・科・種名は、鳥類については「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会、平成24年9月)、哺乳類については「日本野生鳥獣目録」(環境省自然環境局野生生物課、平成14年7月)に準拠した。</p> <p>(注2) 重要な種の選定基準は以下のとおりである。</p> <p>1 「文化財保護法」(昭和25年、法律第214号) 特天：特別天然記念物、天：天然記念物</p> <p>2 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成5年、法律第75号) 際：国際希少野生動植物、内：国内希少野生動植物、緊：緊急指定種</p> <p>3 「【鳥類】環境省レッドリスト(2020)」(令和2年、環境省)、「【哺乳類】環境省レッドリスト(2020)」(令和2年、環境省) EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、 VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群</p> <p>4 「東京都レッドリスト(本土部)2020年見直し版」(令和5年4月、東京都環境局) EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、 VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、*：留意種、○：ランク外、-：データ無し、 ・：非分布</p> <p>5 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年、法律第78号) 特定：特定外来生物</p>
--

## (2) 調査結果（目録と指定種の確認位置）

鳥類及び哺乳類のルート別の調査結果（目録）を以下に示すとおり取りまとめた。

< R（ルート）奥多摩湖鳥獣保護区 >

表 2-2-3 鳥類調査結果

表 2-2-4 哺乳類調査結果

< R（ルート）奥多摩湖鳥獣保護区 同特別保護地区 >

表 2-2-5 鳥類調査結果

表 2-2-6 哺乳類調査結果

< フクロウ類夜間調査結果 >

表 2-2-7 奥多摩湖鳥獣保護区

表 2-2-8 奥多摩湖鳥獣保護区 同特別保護地区

< ネズミ類捕獲調査結果 >

表 2-2-9 奥多摩湖鳥獣保護区

表 2-2-10 奥多摩湖鳥獣保護区 同特別保護地区

< 自動撮影調査結果 >

表 2-2-11 奥多摩湖鳥獣保護区 同特別保護地区

表 2-2-3 (1) 鳥類調査結果 (奥多摩湖鳥獣保護区 ルートセンサス)

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		文献調査	備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季		
12	キジ	キジ	ヤマドリ	<i>Symaticus soemmerringii</i> (Temminck, 1830)					VU			●	
72	カモ	カモ	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i> Linnaeus, 1758								●	
75	カモ	カモ	カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i> Swinhoe, 1866								●	●
89	カモ	カモ	ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i> (Linnaeus, 1758)					●			●	
160	ハト	ハト	キジハト	<i>Streptopelia orientalis</i> (Latham, 1790)						●		●	
171	ハト	ハト	アオハト	<i>Treron sieboldii</i> (Temminck, 1835)					○			●	●
265	カワウ	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i> (Linnaeus, 1758)						●	●		
303	サギ	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i> Linnaeus, 1758						●			
398	カウ	カウ	ジュウイチ	<i>Hierococyx hyperythrus</i> (Gould, 1856)					NT			●	
400	カウ	カウ	ホトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i> Latham, 1790					NT			●	
403	カウ	カウ	ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i> Gould, 1845					NT			●	
404	カウ	カウ	カウ	<i>Cuculus canorus</i> Linnaeus, 1758					VU			●	
420	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	<i>Apus pacificus</i> (Latham, 1802)					DD			●	
706	タカ	タカ	トビ	<i>Milvus migrans</i> (Boddaert, 1783)					○	●	●	●	
730	タカ	タカ	ツミ	<i>Accipiter gularis</i> (Temminck & Schlegel, 1841)					NT			●	
733	タカ	タカ	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i> (Linnaeus, 1758)					NT			●	●
741	タカ	タカ	ノスリ	<i>Buteo buteo</i> (Linnaeus, 1758)					NT			●	
751	タカ	タカ	イヌワシ	<i>Aquila chrysaetos</i> (Linnaeus, 1758)	夫	内	EN					●	
754	タカ	タカ	クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i> Hodgson, 1836		内	EN	EN		●		●	
819	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i> (Linnaeus, 1758)					NT	●	●	●	
825	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ	<i>Megascyle lugubris</i> (Temminck, 1834)					EN			●	
844	キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i> (Temminck, 1836)								●	●
857	キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i> (Reichstein, 1802)					NT			●	
863	キツツキ	キツツキ	アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i> (Linnaeus, 1758)					○	●		●	
876	キツツキ	キツツキ	アオゲラ	<i>Picus awokera</i> Temminck, 1836					○	●		●	
919	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i> (Raffles, 1822)					VU	CR		●	
945	スズメ	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i> Temminck & Schlegel, 1845					NT			●	
963	スズメ	カラス	カケス	<i>Garrulus glandarius</i> (Linnaeus, 1758)						●	●	●	
985	スズメ	カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i> Linnaeus, 1758								●	●
987	スズメ	カラス	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i> Wagler, 1827						●		●	
996	スズメ	キクイタダキ	キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i> (Linnaeus, 1758)					VU	●		●	
1006	スズメ	シジュウカラ	コガラ	<i>Poecile montanus</i> (Conrad von Baidenstein, 1827)								●	●
1009	スズメ	シジュウカラ	ヤマガラ	<i>Poecile varius</i> (Temminck & Schlegel, 1845)					○	●	●	●	
1019	スズメ	シジュウカラ	ヒガラ	<i>Periparus ater</i> (Linnaeus, 1758)						●	●	●	
1023	スズメ	シジュウカラ	シジュウカラ	<i>Parus minor</i> Temminck & Schlegel, 1848						●	●	●	
1063	スズメ	ツバメ	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i> Linnaeus, 1758								●	
1073	スズメ	ツバメ	イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i> (Bonaparte, 1850)					○			●	
1081	スズメ	ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i> (Temminck, 1830)						●	●	●	
1092	スズメ	ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone</i> (Külnitz, 1830)				*		●	●	●	
1100	スズメ	ウグイス	ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i> (Swinhoe, 1863)					NT			●	
1103	スズメ	エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i> (Linnaeus, 1758)						●	●	●	
1126	スズメ	ムシクイ	メボソムシクイ	<i>Phylloscopus xanthodryas</i> (Swinhoe, 1863)					VU			●	
1128	スズメ	ムシクイ	エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i> Partenko, 1950					VU			●	
1129	スズメ	ムシクイ	センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i> (Temminck & Schlegel, 1847)					VU			●	
1142	スズメ	メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i> Temminck & Schlegel, 1845						●	●	●	
1184	スズメ	ゴジュウカラ	ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i> Linnaeus, 1758					NT			●	●
1190	スズメ	キバシ	キバシ	<i>Certhia familiaris</i> Linnaeus, 1758					NT			●	
1195	スズメ	ミソサザ	ミソサザ	<i>Troglodytes troglodytes</i> (Linnaeus, 1758)					○	●	●	●	
1217	スズメ	カワガラス	カワガラス	<i>Cinclus pallasi</i> Temminck, 1820					NT			●	
1221	スズメ	ヒタキ	マミジロ	<i>Zoothera sibirica</i> (Pallas, 1776)					VU			●	
1223	スズメ	ヒタキ	トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i> (Latham, 1790)					NT			●	
1234	スズメ	ヒタキ	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i> Temminck, 1831					NT	●		●	
1238	スズメ	ヒタキ	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i> Gmelin, 1789								●	
1239	スズメ	ヒタキ	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i> Temminck, 1832								●	
1246	スズメ	ヒタキ	ツグミ	<i>Turdus naumanni</i> Temminck, 1820							●	●	
1258	スズメ	ヒタキ	コマドリ	<i>Luscinia akahige</i> (Temminck, 1835)					VU			●	
1268	スズメ	ヒタキ	コルリ	<i>Luscinia cyane</i> (Pallas, 1776)					EN			●	

表 2-2-3 (2) 鳥類調査結果 (奥多摩湖鳥獣保護区 ルートセンサス)

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		文献調査	備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季		
1272	スズメ	ヒタキ	ルリヒタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i> (Pallas, 1773)							●	●	
1280	スズメ	ヒタキ	ジョウヒタキ	<i>Phoenicurus aureoreus</i> (Pallas, 1776)							●	●	
1307	スズメ	ヒタキ	コサメヒタキ	<i>Muscicapa daurica</i> Pallas, 1811				VU				●	●
1314	スズメ	ヒタキ	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i> (Temminck, 1836)								●	
1320	スズメ	ヒタキ	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i> (Temminck, 1829)				NT				●	
1331	スズメ	イワヒバリ	イワヒバリ	<i>Prunella collaris</i> (Scopoli, 1769)								●	
1335	スズメ	イワヒバリ	カヤクグリ	<i>Prunella rubida</i> (Temminck & Schlegel, 1845)				NT			●	●	
1342	スズメ	スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i> (Linnaeus, 1758)						●	●	●	
1356	スズメ	セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i> Tunstall, 1771						●		●	
1358	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i> Linnaeus, 1758						●		●	
1366	スズメ	セキレイ	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i> Sharpe, 1885				○		●			
1375	スズメ	セキレイ	ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i> Richmond, 1907								●	
1388	スズメ	アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i> Linnaeus, 1758								●	
1390	スズメ	アトリ	カワラヒフ	<i>Chloris sinica</i> (Linnaeus, 1766)							●	●	
1395	スズメ	アトリ	マヒフ	<i>Carduelis spinus</i> (Linnaeus, 1758)								●	
1422	スズメ	アトリ	ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i> (Linnaeus, 1758)				VU				●	
1427	スズメ	アトリ	シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i> (Linnaeus, 1758)								●	
1433	スズメ	アトリ	イカル	<i>Fophaea personata</i> (Temminck & Schlegel, 1848)				○				●	
1457	スズメ	ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i> Brandt, 1843				NT		●	●	●	
1467	スズメ	ホオジロ	カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i> Pallas, 1776				NT				●	
1477	スズメ	ホオジロ	アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i> Pallas, 1776								●	
29	ハト	ハト	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i> Gmelin, 1789(ドバト)								●	
73	スズメ	チメドリ	ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i> (Linnaeus, 1758)					特定	●		●	
81	スズメ	チメドリ	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i> (Scopoli, 1786)					特定			●	
計	11目	32科		81種	1種	2種	4種	45種	2種	27種	28種	75種	

表 2-2-4 哺乳類調査結果（奥多摩湖鳥獣保護区 ルートセンサス）

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		文献調査	備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季		
5	モグラ	トガリネズミ	トガリネズミ	<i>Sorex caecion</i>								●	
14	モグラ	モグラ	ヒメヒミズ	<i>Dymecodon pilirostris</i>				NT				●	
15	モグラ	モグラ	ヒミズ	<i>Urotrichus talpoides</i>				○				●	
18	モグラ	モグラ	アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i>				○				●	
—	モグラ	モグラ	モグラ属の一種	<i>Insectivora Talpidae sp.</i>						●			
25	コウモリ	ネコガシラコウモリ	コキクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus cornutus</i>				NT				●	
30	コウモリ	ヒナコウモリ	モモジロコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i>				NT				●	
39	コウモリ	ヒナコウモリ	モリアブラコウモリ	<i>Pipistrellus endoi</i>			VU	VU				●	
44	コウモリ	ヒナコウモリ	ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i>			VU	VU				●	
46	コウモリ	ヒナコウモリ	ヒナコウモリ	<i>Vespertilio superans</i>				NT				●	
56	サル	オナガザル	ニホンザル	<i>Macaca fuscata</i>				NT	●	●	●	●	
58	ネコ	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>					●	●	●	●	
59	ネコ	イヌ	キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>				○	●	●	●	●	
65	ネコ	イタチ	テン	<i>Martes melampus</i>				○	●	●	●	●	
67	ネコ	イタチ	ホンドイタチ	<i>Mustela itatsi itatsi</i>				○	●	●	●	●	
72	ネコ	イタチ	アナグマ (SP)	<i>Meles meles</i>				○	●	●	●	●	
—	ネコ	イタチ	イタチ科の一種	<i>Mustelidae sp.</i>					●	●	●	●	
83	ネコ	アライグマ	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>				特定	●	●	●	●	
85	ネコ	クマ	ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus</i>				NT	●	●	●	●	
129	ウシ	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>				○	●	●	●	●	
130	ウシ	シカ	ニホンジカ	<i>Cervus nippon</i>					●	●	●	●	
132	ウシ	ウシ	ニホンカモシカ	<i>Capricornis crispus</i>	特定			VU	●	●	●	●	
136	ネズミ	リス	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>				○	●	●	●	●	
138	ネズミ	リス	モモンガ	<i>Pteromys momonga</i>				○	●	●	●	●	
140	ネズミ	リス	ムササビ	<i>Petaurista leucogenys</i>				○	●	●	●	●	
144	ネズミ	ネズミ	ヤチネズミ	<i>Eothenomys andersoni</i>				NT	●	●	●	●	
145	ネズミ	ネズミ	スミスネズミ	<i>Eothenomys smithii</i>					●	●	●	●	
146	ネズミ	ネズミ	ハタネズミ	<i>Microtus montebelli</i>				*	●	●	●	●	
151	ネズミ	ネズミ	アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>				○	●	●	●	●	
152	ネズミ	ネズミ	ヒメネズミ	<i>Apodemus argenteus</i>				○	●	●	●	●	
159	ネズミ	ヤマネ	ヤマネ	<i>Glirulus japonicus</i>				○	●	●	●	●	
164	ウサギ	ウサギ	ノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i>				○	●	●	●	●	
計	7目	16科		32種	1種	0種	2種	25種	1種	12種	8種	29種	

表 2-2-5 (1) 鳥類調査結果 (奥多摩湖鳥獣保護区 同特別保護地区 ルートセンサス)

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		文献調査	備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季		
12	キジ	キジ	ヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii</i> (Temminck, 1830)					VU		●	●	
62	カモ	カモ	オシドリ	<i>Aix galericulata</i> (Linnaeus, 1758)				DD	VU		●	●	
72	カモ	カモ	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i> Linnaeus, 1758							●	●	
75	カモ	カモ	カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i> Swinhoe, 1856							●	●	
81	カモ	カモ	コガモ	<i>Anas crecca</i> Linnaeus, 1758							●	●	
160	ハト	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i> (Latham, 1790)							●	●	
171	ハト	ハト	アオバト	<i>Treva sieboldii</i> (Temminck, 1835)				○			●	●	
265	カウオドリ	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i> (Linnaeus, 1758)							●	●	
303	バリカン	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i> Linnaeus, 1758							●	●	
398	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ	<i>Hierococyx hyperythrus</i> (Gould, 1856)					NT			●	
400	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i> Latham, 1790					NT			●	
403	カッコウ	カッコウ	ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i> Goeftl, 1845					NT			●	
404	カッコウ	カッコウ	カッコウ	<i>Cuculus canorus</i> Linnaeus, 1758					VU			●	
420	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	<i>Apus pacificus</i> (Latham, 1802)					DD			●	
706	タカ	タカ	トビ	<i>Milvus migrans</i> (Boddaert, 1782)				○			●	●	●
730	タカ	タカ	ツミ	<i>Accipiter gularis</i> (Temminck & Schlegel, 1844)					NT			●	
733	タカ	タカ	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i> (Linnaeus, 1758)				NT	VU			●	
741	タカ	タカ	ノスリ	<i>Buteo buteo</i> (Linnaeus, 1758)					NT			●	
751	タカ	タカ	イヌワシ	<i>Aquila chrysaetos</i> (Linnaeus, 1758)		天	内	EN				●	
819	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i> (Linnaeus, 1758)					NT			●	●
825	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ	<i>Megasceryle lugubris</i> (Temminck, 1834)					EN			●	
844	キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i> (Temminck, 1836)							●	●	●
857	キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i> (Bechstein, 1802)					NT			●	
863	キツツキ	キツツキ	アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i> (Linnaeus, 1758)					○			●	●
876	キツツキ	キツツキ	アオゲラ	<i>Picus awokera</i> Temminck, 1836					○		●	●	●
919	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i> (Raffles, 1822)					VU	CR		●	
945	スズメ	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i> Temminck & Schlegel, 1815					NT			●	●
963	スズメ	カラス	カラス	<i>Garrulus glandarius</i> (Linnaeus, 1758)							●	●	●
985	スズメ	カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i> Linnaeus, 1758							●	●	●
987	スズメ	カラス	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i> Wagler, 1827							●	●	●
996	スズメ	キクイタダキ	キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i> (Linnaeus, 1758)					VU			●	
1006	スズメ	シジュウカラ	コガラ	<i>Poecile montanus</i> (Conrad von Baldestein, 1827)								●	●
1009	スズメ	シジュウカラ	ヤマガラ	<i>Poecile varius</i> (Temminck & Schlegel, 1845)					○			●	●
1019	スズメ	シジュウカラ	ヒガラ	<i>Periparus ater</i> (Linnaeus, 1758)							●	●	●
1023	スズメ	シジュウカラ	シジュウカラ	<i>Parus minor</i> Temminck & Schlegel, 1848							●	●	●
1063	スズメ	ツバメ	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i> Linnaeus, 1758							●	●	●
1073	スズメ	ツバメ	イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i> (Bonaparte, 1850)					○		●	●	●
1081	スズメ	ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i> (Temminck, 1830)							●	●	●
1092	スズメ	ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphena</i> (Kittlitz, 1830)				*			●	●	●
1100	スズメ	ウグイス	ヤブリメ	<i>Urosphena squameiceps</i> (Swinhoe, 1863)					NT			●	
1103	スズメ	エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i> (Linnaeus, 1758)								●	●
1126	スズメ	ムシクイ	メボソムシクイ	<i>Phylloscopus xanthodyas</i> (Swinhoe, 1863)					VU			●	
1128	スズメ	ムシクイ	エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i> (Purtenko, 1950)					VU			●	
1129	スズメ	ムシクイ	センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i> (Temminck & Schlegel, 1847)					VU			●	
1142	スズメ	メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i> Temminck & Schlegel, 1845							●	●	●
1184	スズメ	ゴジュウカラ	ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i> Linnaeus, 1758					NT			●	●
1190	スズメ	キバシリ	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i> Linnaeus, 1758					NT			●	●
1195	スズメ	ミノサザイ	ミノサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i> (Linnaeus, 1758)					○		●	●	●
1217	スズメ	カワガラス	カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i> Temminck, 1820					NT			●	●
1221	スズメ	ヒタキ	マミジロ	<i>Zoothera sibirica</i> (Pallas, 1776)					VU			●	
1223	スズメ	ヒタキ	トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i> (Latham, 1790)					NT		●	●	●
1234	スズメ	ヒタキ	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i> Temminck, 1831					NT		●	●	●
1238	スズメ	ヒタキ	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i> Gmelin, 1789								●	●
1239	スズメ	ヒタキ	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i> Temminck, 1832								●	●
1246	スズメ	ヒタキ	ツグミ	<i>Turdus naumanni</i> Temminck, 1820								●	●
1258	スズメ	ヒタキ	コマドリ	<i>Luscinia akahige</i> (Temminck, 1835)					VU			●	
1268	スズメ	ヒタキ	コルリ	<i>Luscinia cyane</i> (Pallas, 1776)					EN			●	

表 2-2-5 (2) 鳥類調査結果 (奥多摩湖鳥獣保護区 同特別保護地区 ルートセンサス)

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		文献調査	備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季		
1272	スズメ	ヒタキ	ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i> (Pallas, 1773)							●	●	
1280	スズメ	ヒタキ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i> (Pallas, 1776)							●	●	
1307	スズメ	ヒタキ	コマメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i> Pallas, 1811				VU					●
1314	スズメ	ヒタキ	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i> (Temminck, 1836)									●
1320	スズメ	ヒタキ	オオトリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i> (Temminck, 1829)				NT					●
1331	スズメ	イワヒバリ	イワヒバリ	<i>Prunella collaris</i> (Scopoli, 1769)									●
1335	スズメ	イワヒバリ	カヤクグリ	<i>Prunella rubida</i> (Temminck & Schlegel, 1845)				NT			●		●
1342	スズメ	スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i> (Linnaeus, 1758)						●			●
1356	スズメ	セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i> Tunstall, 1771						●			●
1358	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i> Linnaeus, 1758						●			●
1375	スズメ	セキレイ	ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i> Richmond, 1907									●
1388	スズメ	アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i> Linnaeus, 1758									●
1390	スズメ	アトリ	カワラビロ	<i>Chloris sinica</i> (Linnaeus, 1766)						●			●
1395	スズメ	アトリ	マヒワ	<i>Carduelis spinus</i> (Linnaeus, 1758)									●
1422	スズメ	アトリ	ウン	<i>Pyrrhula pyrrhula</i> (Linnaeus, 1758)				VU					●
1427	スズメ	アトリ	シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i> (Linnaeus, 1758)									●
1433	スズメ	アトリ	イカル	<i>Eophona personata</i> (Temminck & Schlegel, 1848)				○					●
1457	スズメ	ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i> Brandt, 1843				NT			●		●
1467	スズメ	ホオジロ	カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i> Pallas, 1776				NT					●
1477	スズメ	ホオジロ	アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i> Pallas, 1776							●		●
29	ハト	ハト	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i> Gmelin, 1789(ドバト)									●
73	スズメ	チメドリ	ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i> (Linnaeus, 1758)					特定	●	●		●
81	スズメ	チメドリ	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i> (Scopoli, 1786)					特定				●
計	11目	32科		80種	1種	1種	4種	43種	2種	25種	31種	75種	

表 2-2-6 哺乳類調査結果 (奥多摩湖鳥獣保護区 同特別保護地区 ルートセンサス)

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		文献調査	備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季		
5	モグラ	トガリネズミ	トガリネズミ	<i>Sorex caecion</i>								●	
14	モグラ	モグラ	ヒメヒミズ	<i>Dymecodon pilirostris</i>				NT				●	
15	モグラ	モグラ	ヒミズ	<i>Urotrichus talpoides</i>				○				●	
18	モグラ	モグラ	アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i>				○				●	
25	コウモリ	キクガシラコウモリ	コキクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus cornutus</i>				NT				●	
30	コウモリ	ヒナコウモリ	モモジロコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i>				NT				●	
39	コウモリ	ヒナコウモリ	モリアブラコウモリ	<i>Pipistrellus endoi</i>			VU	VU				●	
44	コウモリ	ヒナコウモリ	ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i>			VU	VU				●	
46	コウモリ	ヒナコウモリ	ヒナコウモリ	<i>Vespertilio superans</i>				NT				●	
56	サル	オナガザル	ニホンザル	<i>Macaca fuscata</i>				NT		●	●	●	
58	ネコ	イヌ	タヌキ	<i>Nyctercutes procyonoides</i>						●	●	●	
59	ネコ	イヌ	キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>				○			●	●	
65	ネコ	イタチ	テン	<i>Martes melampus</i>				○				●	
67	ネコ	イタチ	ホンドイタチ	<i>Mustela itatsi itatsi</i>				○				●	
72	ネコ	イタチ	アナグマ	<i>Meles meles</i>				○				●	
—	ネコ	イタチ	イタチ科の一種	<i>Mustelidae sp.</i>						●	●		
85	ネコ	クマ	ツキノフグマ	<i>Ursus thibetanus</i>				NT		●	●	●	
86	ネコ	ジャコウネコ	ハクビシン (SP)	<i>Paguma Larvata</i>						●			
129	ウシ	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>				○		●		●	
130	ウシ	シカ	ニホンジカ	<i>Cervus nippon</i>						●	●	●	
132	ウシ	ウシ	ニホンカモシカ	<i>Capricornis crispus</i>	特天			VU				●	
136	ネズミ	リス	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>				○		●	●	●	
138	ネズミ	リス	モモンガ	<i>Pteromys momonga</i>				○				●	
140	ネズミ	リス	ムササビ	<i>Petaurista leucogenys</i>				○		●	●	●	
144	ネズミ	ネズミ	ヤチネズミ	<i>Eothenomys andersoni</i>				NT				●	
145	ネズミ	ネズミ	スミスネズミ	<i>Eothenomys smithii</i>								●	
146	ネズミ	ネズミ	ハダネズミ	<i>Microtus montebellii</i>				*				●	
151	ネズミ	ネズミ	アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>				○				●	
152	ネズミ	ネズミ	ヒメネズミ	<i>Apodemus argenteus</i>				○				●	
—	ネズミ	ネズミ	ネズミ科の一種	<i>Apodemus argenteus</i>							●		
159	ネズミ	ヤマネ	ヤマネ	<i>Girulus japonicus</i>				○				●	
164	ウサギ	ウサギ	ノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i>				○				●	
計	7目	16科		32種	1種	0種	2種	25種	0種	9種	9種	29種	



表 2-2-7 フクロウ類夜間調査結果（奥多摩湖鳥獣保護区 任意踏査）

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		文献調査	備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季		
781	フクロウ	フクロウ	フクロウ	<i>Strix uralensis Pallas, 1771</i>				VU		●	—		
計	1目	1科	1種		0種	0種	0種	1種	0種	1種	0種	0種	

表 2-2-8 フクロウ類夜間調査結果（奥多摩湖鳥獣保護区 同特別保護地区 任意踏査）

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		文献調査	備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季		
781	フクロウ	フクロウ	フクロウ	<i>Strix uralensis Pallas, 1771</i>				VU		●	—		
計	1目	1科	1種		0種	0種	0種	1種	0種	1種	0種	0種	

表 2-2-9 ネズミ類捕獲調査結果（奥多摩湖鳥獣保護区）

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		文献調査	備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季		
151	ネズミ	ネズミ	アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>				○		●	—		
計	1目	1科	1種		0種	0種	0種	1種	0種	1種	0種		

表 2-2-10 ネズミ類捕獲調査結果（奥多摩湖鳥獣保護区 同特別保護地区）

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		文献調査	備考	
					1	2	3	4	5	夏季	冬季			
計	0目	0科	0種		0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	捕獲無し	—	

表 2-2-11 自動撮影調査結果（奥多摩湖鳥獣保護区 同特別保護地区）

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		備考
					1	2	3	4	5	冬季	冬季	
56	サル	オナガザル	ニホンザル	<i>Macaca fuscata</i>					NT		●	
58	ネコ	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>							●	
59	ネコ	イヌ	キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>					○		●	
65	ネコ	イタチ	テン	<i>Martes melampus</i>					○		●	
86	ネコ	ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma Larvata</i>							●	
129	ウシ	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>					○		●	
130	ウシ	シカ	ニホンジカ	<i>Cervus nippon</i>							●	
計	3目	6科	7種		0種	0種	0種	4種	0種	0種	7種	